

平成20年度 各会計予算を 可決

平成20年度一般会計予算及び新たに設けられた後期高齢者医療特別会計を含めた6つの特別会計予算が、最終日の本会議で可決されました。

定例会初日に一般会計及び特別会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月4日から6日までの3日間、特別会計は3月7日に審査されました。

定例会最終日には、島村速雄一般会計予算特別委員会委員長と浅倉成樹特別会計予算特別委員会委員長がそれぞれ審査報告を行い、採決の結果、いずれも可決されました。

市長から行われた提案説明の概要と、一般会計予算に対する各会派の討論の要旨は以下のとおりです。

●平成20年度予算総額●

(単位:千円、%)

	20年度 予算額	19年度 予算額	伸び率	
一般会計	49,461,000	48,516,000	1.9	
特別会計	国民健康 保険事業	16,191,900	15,356,500	5.4
	老人保健	1,343,500	10,456,400	△87.2
	後期高齢 医療保険	2,580,900	0	皆増
	介護事業	8,157,900	7,728,100	5.6
	下水道 事業	4,956,800	5,142,500	△3.6
	水道 事業	131,300	771,600	△83.0
	合計	82,823,300	87,971,100	△5.9

【一般会計】

歳入では、企業収益の動向を反映して法人市民税を前年度より約6億9千万円増額で見込む一方、一般財源の不足を補てんするための財政調整基金の繰り入れや、臨時財政対策債の借入額を前年より減額して計上するなど財政の健全化に努めた予算としました。歳出では限られた財源をより重点的、効率的に配分して必要な事業を実現するほか、公約に掲げた課題を実現するための予算を計上。また土地開発公社保有地の購入等による債務の減少など、将来に向けて備えを図るなど財政基盤の強化を意識した予算としました。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入は、75歳以上の被保険者が国民健康保険から抜け、被保険者数が減少するため、保険料収入は約10億円の減額を見込んでいます。歳出は、医療費の高齢者の人数がふえることなどから、保険給付費が前年度当初予算に比べて6.1%の増となる見込みです。

【老人保健特別会計】

老人保健制度は医療制度改革により、平成19年度で廃止され

【介護保険事業特別会計】

歳入は保険料のほか、法定負担である国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、一般会計からの繰入金等を計上しました。歳出では、保険給付費を予算総額の93.5%に当たる約76億3千99万円と見込むほか、介護保険事業の運営に要する経費等を計上しました。

【下水道事業特別会計】

歳入の下水道使用料は、前年度に比べ0.3%の減を見込みました。歳出では、分流域の雨水整備事業で、花小金井五丁目の野中通りと東京街道の交差点から東側の東京街道等の整備を行います。

【受託水道事業特別会計】

歳入は都からの委託金で、歳出は水道施設の維持管理経費、及び職員の人件費等です。なお、予算額は業務が都に順次移行していることにより、大幅に減少しています。

4月からは新たな後期高齢者医療制度に移行します。本予算は、平成20年3月分の医療費等が主な内容となっています。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入は、保険料と一般会計繰入金が多くなる見込みです。歳出は広域連合へ納付する負担金のほか、保健事業、及び葬祭事業に要する経費を計上しています。

【小平市における後期高齢者医療の対象者数は、約1万5千6百人と推計されています。】

小平市における後期高齢者医療の対象者数は、約1万5千6百人と推計されています。

【介護保険事業特別会計】

歳入は保険料のほか、法定負担である国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、一般会計からの繰入金等を計上しました。

【下水道事業特別会計】

歳入の下水道使用料は、前年度に比べ0.3%の減を見込みました。歳出では、分流域の雨水整備事業で、花小金井五丁目の野中通りと東京街道の交差点から東側の東京街道等の整備を行います。

【受託水道事業特別会計】

歳入は都からの委託金で、歳出は水道施設の維持管理経費、及び職員の人件費等です。なお、予算額は業務が都に順次移行していることにより、大幅に減少しています。

議員の辞職

3月31日、華表 曉議員(日本共産党小平市議団)から市議会議員に議員辞職願いが提出され、同日付で許可されました。

一般会計予算に対する

各会派の討論

要旨

反対

政和会

～市長の公約とそこがある予算～

市長任期の締めくくりの予算案の内容としては余りにも寂しい内容と評価せざるを得ない。市長が公約とするマニフェストの内容とそこを来しているものが数多く見受けられ、公約の何たるかが問われるものである。以下、順次反対理由を述べる。①今の行政課題の対応に重点を置き過ぎ、あしたの市民のための投資にほとんど関心を払っていない。②35人学級の実施をほごにするなど公約を無視する市長の姿勢、③市民及び協働の言葉の定義のあいまいさ、④市長のリーダーシップのなさとして市民に都合のいいところだけ任せ市民を利用し、議会を軽視する態度、⑤行政のスリム化に逆行する全く必要のない副市長の2人制、⑥市民にとって必要なか疑問である、平成18年度から6千万円以上が投じられている(仮称)自治基本条例づくり、⑦守りの姿勢ばかり目立つ市長の政治姿勢などである。その他に市民の暮らしの実態を把握し、タイムリーに政策として実現する努力の希薄さ、広域連携に対する取り組みの鈍さ、教育課題への消極的姿勢、予算消化することだけを考えた予算等である。以上申し上げ、反対討論とする。

賛成

市議会公明党

～市民生活に配慮した事業を評価～

不十分な点は多くあるが市民生活に直結した部分で、我が会派が要望してきた事業が盛り込まれた点を評価する。指摘事項としては、市民活動支援、市民参加の一層の推進とあるが、市民活動、委員会とあり、公共交通網の整備などで真の市民協働をどうとらえていくか等が見えてきていない。また、市の責任、市民の自立、機運の盛り上がりなど抽象的な事柄が明確にならず、地域内格差等の課題は山積しているが打開策の明示がない。行財政改革も、具体的な進め方、外部評価の認識が不明確で将来の小平を見据

賛成

フォーラム小平

～債務を減らし、市民生活に配慮した予算を評価～

本予算案は、債務を前年度に比べて約7%減らすなど債務償還を重視しつつ、市民生活の安心、安全に配慮した予算となっている。財政健全化に資するべく低利債への借りかえなど債務削減に努め、事務事業の見直しにより1億6千万円の節約を実現した。その一方で、妊産婦健診補助の拡大、病後児保育の開始、学童クラブの新設など、産み育てやすい町小平に向け一歩前進した。小・中学校のガストロップのFF化、校舎の耐震補強事業、一般住宅の耐震補強工事補助事業を開始するなど市民の安全に資する事業を推進し、地域の交通不便を解消すべくコミュニティタクシーの試行運行の開始、各種証明書の自動交付機の増設など市民の利便性につながる施策を数多く盛り込んでいる。そして市長の標榜する市民参画、地域協働についても自治基本条例策定事業を初め多種多様な団体が主体的に参加し、小平を動かす原動力の一つとして定着してきた感がある。よって、今後とも行財政改革のさらなる推進、安心・安全な町小平の実現、市民参画・協働の伸長を期して本予算に賛成する。

賛成

日本共産党小平市議団

～市民要望の施策が盛り込まれた予算～

本予算案は、問題点はあるがおおむね妥当と考える。賛成の理由は以下2点である。①市民生活が大変困難になっている中で、市民負担を極力軽減し、暮らしや教育、子育てを支援する施策、市民要望にこたえる施策が盛り込まれ拡大されている。高齢者訪問給食サービスの減免対象者の拡大、地域包括支援センター出張所の新設、高齢者見守り事業や障害者グループホームの拡充など、暮らしが困難な市民に対する支援をさらに一歩前進させた。その他、妊産婦無料健診の拡大、校舎のガストロップのFF化、学童クラブの新設、病後児保育の実施など市民要望にこたえた。また、にじバスの本格運行、コミュニティタクシーの実証実験運行が始まり、その努力を評価する。②市民参加と情報公開を一層推進し進め、計画段階から市民参加を広げる予算になっているということである。自治基本条例は市民の会議による検討が進められ、制定に向けた骨子案の提案や意見交換会の実施などの取り組みは、市民の中に民主主義を展覧させるものと評価できる。以上より、賛成討論とする。

賛成

緑・ネット

～市長が就任して1期4年の仕上げの予算～

市長が就任して1期4年の仕上げの予算となる。企画政策部の事務事業評価は政策論議の材料として有効であり、各課が主体的に説明責任に取り組みことを期待する。行財政再構築プランを利害や意見の違う人たちの議論を踏まえて進めること。市民の会議で活発な議論が続いている自治基本条例の意見交換のための市民へのアプローチの仕方を工夫してほしい。総務部のこどもコーナーの設置は大きな前進と評価、財務部では赤字債である臨時財政対策債を抑制するよう要望する。市民生活部では協働の指針を多くの市民と議論して作成してほしい。次世代育成部ではDVシeltersへの補助金の継続を評価する。健康福祉部では後期高齢者医療制度に対する市民への広報と丁寧な説明を望む。環境部はエネルギービジョン策定を実効性のあるものにしてほしい。都市開発部の組合施行事業は市民の声が反映されるよう望む。都市建設部は自転車が似合う町への取り組みを積極的に進め、教育部の特別支援教育支援は人的配置が必要と考える。以上、課題と期待を述べ賛成討論とする。